

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ●かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2017.5

Vol.251



THE KAWASAKI FOUNDATION

薪能 —TAKIGI-NOH—

川崎大師
開創
890年
記念

第42回
川崎大師



平成28年度川崎大師薪能 上演風景 能「小鍛冶」山階彌右衛門(撮影:前島吉裕)

能「羽衣」二十六世観世宗家 観世清和(撮影:前島吉裕)

CONTENTS [目次]

04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール 07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館
10 | 美術 市内ギャラリー情報 13 | 演劇 アルテリオ小劇場 14 | 映画 アルテリオ映像館



川崎大師開創890年記念

第42回 川崎大師新能

～風薫る宵のうつろいとともに堪能する幽玄の世界～

インタビュー：山階彌右衛門さん(シテ方観世流能楽師)

川崎大師平間寺の境内に設置された野外の特設舞台で、かがり火を焚いて能・狂言を上演する「川崎大師新能」。昭和49年の大開帳奉修を記念して上演されて以来毎年開催され、川崎の初夏を彩る風物詩として多くの方から親しまれてきました。今年は川崎大師開創890年を記念して、5月23日に開催します。ご出演いただく観世流能楽師 山階彌右衛門さんに、川崎大師新能の見どころについてお話を伺いました。

—— 川崎大師新能には、第1回から観世宗家をはじめ、観世流の方々にご出演いただけてきました。

観世流は、初代家元が観阿弥、二代目が世阿弥という能の大成者から約700年の伝統を受け継ぐ、能楽界最大の流派です。

川崎大師新能は、私の伯父になる観世元昭が中心になっており、私の父である二十五世 観世左近(元正)も毎回のように出演させていただきましました。現在の二十六世観世宗家 観世清和、私の弟の観世芳伸も、成人してからはずっとこの舞台に出させていただいております。

関東エリアでこれだけ長く続いているのはおそらく、この川崎大師新能だけかと思います。

川崎大師に想いを馳せて

—— 山階さんもこれまでに10回シテ(主役)を演じられています。川崎大師で舞われることについて、どのように思われますか。

能楽というのは、もともと奉納するということから始まった芸能になりますから、やはりこの様に奉納させていただく舞台は、普段の演能とは気構えみたいなものが違ってきますし、気持ちもピリッと引き締まります。

最初に導師様の法楽が毎回ありますが、こういった儀式のあとに演能するというのは、いかにも能らしいと思います。

また、公演当日、会場に着くと私はいつも空を見上げます。都会で過ごしているとビルが乱立していてなかなか空が見えませんが、東京から約20分の地に大きなお寺があって、空が開けていて、月が見える。その環境をまず役者が感じるのが大切だと思います。お客様に、初夏の風物詩であるこの大師新能の景色や海風を感じながら観ていただくためには、役者が絶えずそういう感覚を持っていないといけません。

また、ここ何年間か実践していることなのですが、川崎大師様についたら、まず参道を歩いて何が売っているのか見て、実際に買って食べてみます。そうすると、その土地の空気感みたいなものが分かってきます。もしかしたら過去に、弘法大師様も同じようなことをされたかもしれない。そういうところに想いを馳せて、演能することが非常に大事だと思っています。

お祝いの気持ちを込めた演出

—— 今年、川崎大師は開創890年を迎えます。

今回、お大師様から開創890年ということを知って、この節目の年に家元が舞うのが一番よろしいのではないかとということで、二十六世観世宗家 観世清和がシテを勤め、能「羽衣」をお祝いの気持ちを込めて上演いたします。また、能と狂言の前に上演する仕舞(能のクライマックス部分を抜き出した上演形式)も全て、祝言の曲を選びました。

まず「老松」は、松のめでたさが主題で、終曲部に国歌の歌詞「さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで」の詞章があります。

「屋島」は、源義経の戦いの有様を描いたもので、戦に勝ったというお祝いの気持ちで上演される曲です。

「鞍馬天狗」も、鞍馬山にいる天狗が牛若丸をサポートして、将来的なお家復興、源氏復活をうたい上げた曲です。



能「羽衣」に込められた多くのメッセージ

—— 能「羽衣」についてお聞かせください。

能といえば、「羽衣」というくらいポピュラーですし、特に観世流ではよく上演されるものの一つで、能の美しさが全面に出ている曲だと思っています。上演時間も約50分とちょうど良く、さらに装束も艶やかなものをつけますので、新能に非常に合っています。

漁師が衣を拾い、持ち主である天女が衣を返してほしいと願うところからお話が始まり、最後には天女が衣を返してもらったお礼に舞を舞って、天に帰っていくという、一見他愛もない話ではありますが、実はたくさん重要なことが含まれています。

実は、私は「羽衣」の絵本を作ったことがありまして、その時にこの「羽衣」の詞章を全部細かく調べました。

羽衣を返してほしいというやり取りの中で、漁師が「舞を舞ってくれたら、衣を返す」、天女が「舞を舞うには、衣が必要だから返してほしい」と、どちらが先かで非常にもめるんですけども、その時に天女が「うそ偽りを言うのは人間です。天に偽りはありません」と言う台詞が、この曲の一番重要なテーマだとよく皆さんおっしゃいます。

しかし、私はその後漁師が「ああ恥ずかしいことをしました、衣をお返しします」という台詞、それも大事なのではないかと思います。拾ったものを、元の方にお返しするという想いが日本人にあるということが、この曲の非常に良いところだと思います。

魅力がたくさん詰まった美しい舞台

—— 能「羽衣」の見どころについてお聞かせください。

まず舞姿の美しさがありますが、特に前半の衣を着ていない姿の美しさが見どころの一つだと思います。前半、シテの天女は、いわゆる上着を脱いだ姿で出てきます。実は役者にとっては、ごまかしが利かないので嫌な姿なのですが、お客様には、役者の手や肩、腰から足までのスリットとした身体の線の美しさを、観ていただくことができます。特に家元は、身体の線が綺麗ですので、是非ともご覧いただきたいと思います。

そして後半は、天女が衣を着た後の舞の美しさが観られるという、本当に良く出来た演出の能です。

後半の天女の衣装は、「長絹」といって、地が絹という薄く透ける素材で作られた、非常に美しい装束です。また、家元が使う能面は、通常では新しくても江戸中期、特別な舞台になると室町時代のもので

プロフィール

山階 彌右衛門(やましな やえもん)

昭和36年生まれ／二十五世 観世左近 次男／父及び二十六世 観世清和に師事／重要無形文化財総合指定保持者／一般社団法人観世会副理事長／一般財団法人観世文庫常務理事



平成28年度川崎大師薪能 能「小鍛冶」山階彌右衛門(撮影:前島吉裕)

つけますが、薪能では天候次第になってしまうので、それは当日のお楽しみですね。

野外で鑑賞する醍醐味

——薪能を初めて観る方へ、鑑賞のポイントをお聞かせください。

薪能は、観阿弥、世阿弥の時代に一番近い上演形式だと思います。照明は薪の灯り、外から風の音が聞こえ、月が出ている、という自然の中で上演するのが能の本来の姿なのです。

能楽堂だと建物の中なので日が暮れても同じ照明ですね。薪能の場合は、仕舞や狂言の上演中はまだ明るいですが、能「羽衣」の天女が舞っているうちに、空がだんだんと暗くなって、月が出て、最後は天女が月に帰っていくという、「羽衣」のストーリーとも非常に合ったシチュエーションで楽しみいただけると思います。

雨が降るかもしれないというリスクはありますが、雨天時上演会場の信徒会館も至近距離で演者の気を感じながら鑑賞できますので、それはそれでお楽しみいただけると思います。

——薪能ならではの裏話などがありましたら、お聞かせください。

裏話はたくさんありますよ(笑)。今度も持っていくますが、観世宗家では、いつも和傘を用意していきます。途中で雨が降ってきてしまったら、後見が(舞台の進行を監督する役)、シテやお囃子に傘をさして演能を続け、最後の場面に飛ぶようにみんなに合図を出して1分程で舞台からひくこともあります。

あと、これは九州での話なのですが、雨が降っているけれども、どうしても上演してほしいと主催者に言われ、舞台の周りに全部ビニールをかけて、その中で舞ったこともありました。高価な衣装や道具を持っていますので、雨が降ってきたら致し方ないところがありますが、そこはご了承くださいねと思います。

お客様の期待感を盛り上げる準備

——今回は山階さんに開演前、解説をしていただきます。

私は「解説」という言葉があまり好きではなく、これから始まる演能を楽しむためのトレーニングじゃないけれども、皆さんに「早く天女が出て来ないかな」という気持ちになってもらえるようなお話を心がけたと思っています。

これについては、世阿弥も述べています。「能舞台には陰と陽がある」と。特に夜の舞台では周りが暗くなるので、客席が陰に、舞台が陽になります。役者は舞台からお客を陽の方に引きずり込むようにしなくてはなりません。そして、舞台が終わった時には、客席が陽に、舞台が陰になる。だから幕が閉まるのです。

本当のおもてなし

——観客の方へメッセージをお願いします。

能という芸能は、とても面白いものです。深く掘り下げて行けば行くほど、その面白さが倍増してきますし、今の日本人が失ってしまった要素がたくさん込められています。

本当の「おもてなし」というのは何かということを、こういった古典



平成28年度川崎大師薪能 能「小鍛冶」山階彌右衛門(撮影:前島吉裕)

芸能を通じて、日本の方々に伝えたいですね。すべてサービスするのが「おもてなし」ではありません。やはり見る側の方にも、礼儀作法を持ってご覧いただく。中国の故事にもそういう話がありますが、「おもてなし」を受けなければ、礼儀をきちんとしなさいというのが今の家元の考え方です。

関東も一時、色々なところで薪能が行われていましたけれども、結局やめてしまったところが多く、この川崎と大山くらいしか長く続いているところはありません。地元にお大師様のような大きなお寺があって、そこでお能が演じられているということを、今後も大事に守っていただきたいなと思います

開催概要

Information

日時: **5月23日(火)17時半開演**

会場: **大本山川崎大師平間寺 特設舞台**

(雨天時:信徒会館)

チケット取扱: **チケットぴあ**

TEL:0570-02-9999[Pコード:457-250]

ミュージアム川崎シンフォニーホール チケットセンター

TEL:044-520-0200

演目: **薪能法楽 大導師 貫首 藤田隆乗**(大本山川崎大師平間寺)

仕舞 **「老松」観世恭秀**

「屋島」観世芳仲

「鞍馬天狗」山階彌右衛門

狂言 **「蝸牛」野村萬斎**

能 **「羽衣 和合之舞」観世清和**

◆開演前17時より出演者による演目の見どころ解説があります。

料金: S席6,000円(区分指定・区分内自由/雨天時 信徒会館入場可)

※残席僅少

A席4,000円(区分指定・区分内自由/雨天時 払い戻し)

※雨天時は信徒会館への入場はできません。

主催:川崎大師薪能実行委員会

お問い合わせ:川崎市文化財団 川崎大師薪能係 TEL 044-222-8821

川崎大師 開創890年記念祭 5月1日(月)~7日(日)

本年、開創890年を迎えました川崎大師では、5月1日から7日まで「開創890年祭」を奉修いたします。

記念事業「日本百観音霊場お砂踏み参拝所」の開設法要をはじめ各種特別法要を執り行います。

法要日程について、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.kawasakidaishi.com/>



毎月1回のお楽しみ、音楽を聴きにミューザに出かけよう！

MUZAランチタイムコンサート& MUZAナイトコンサート60

ミューザ川崎シンフォニーホールでは、毎月1回ランチタイムコンサートとナイトコンサートを開催しています。このコンサートシリーズは“だれもが気軽に楽しめる”をコンセプトに、多彩なラインナップをそろえています。音楽を聴いて癒されたい、笑顔になりたい、元気になる人はもちろん、こんなニーズにもお応えできます。

“コスパ”が高いので友人やご家族を気軽に誘えます

ランチタイムコンサートの入場料はワンコインの500円、ナイトコンサート60は1,000円とたいへんリーズナブル。この料金で、一流アーティストによる演奏をミューザの豊かな音響空間でお楽しみいただけます。

そこで、一人でコンサートに行くのは気が引けるという人も、お財布の中身を気にせずに、気軽にお友達やご家族を誘うことができます。ミューザ周辺にはレストランが数多くあるので、コンサートとセットでランチやディナーを楽しむこともできます。

世界最高峰の音響を体験できます

ミューザ川崎シンフォニーホールは日本に三つしかないヴィンヤード形式のコンサートホール。螺旋状の客席がステージを囲む形になっているのは、ホール内のどこに座っても音が良く聴こえるように設計されているからです。また、ヴィンヤード形式ではどの客席からもステージが近くに感じられるので、コンサートの臨場感をより豊かに味わうことができます。世界の有名な指揮者たちが惚れこんだ世界最高峰の音響を、ぜひあなたの耳で確かめてください。

いろいろなジャンルの音楽を楽しめます

ランチタイムコンサート&ナイトコンサートでは、クラシックを中心に、ジャズ、ポップス、映画音楽、声楽アンサンブルなど多彩なジャンルの音楽を毎月お届けしています。

リーズナブルなコンサートなので、今まで聴いたことのない音楽ジャンルや楽器を知ることができる、またとないチャンスでもあります。

【ランチタイムコンサート】12:10開演(12:50終演予定) 【ナイトコンサート60】19:00開演(20:00終演予定)

5月24日(水)

初夏に想う オルガンとソプラノの美しき調べ

出演：近藤 岳(パイプオルガン)
松井亜希(ソプラノ)

ランチタイム ナイト60

J.S.バッハ：ピエス・ドルグ(幻想曲)
ト長調 BWV572

J.S.バッハ：カンタータ第82番
『われは満ちたれり』より
第3曲アリア「眠れ、疲れた眼(まなこ)よ」 ほか



近藤 岳 松井亜希

6月6日(火)

東京交響楽団 ヴィオラ四重奏

出演：青木篤子 大角 彩 木村正貴 小西応興

ランチタイム ヨーク・ボウエン：幻想四重奏曲(ファンタジア)
ピアソラ：アディオス・ノニーノ

ナイト60 ブルッフ：ヴィオラと管弦楽のためのロマンス(ヴィオラ四重奏版) ほか



7月11日(火)

素敵な人生に！ ～スペインからの贈り物

出演：小島弥寧子(パイプオルガン)
森川郁子(ソプラノ & 太鼓)
佐藤亜紀子(バロック・ギター)

ランチタイム

J.アラニェス：チャコナ「素敵な人生に」
F.コレア・デ・アラウホ：モラレスのバッターリャによる
第6旋法のティエント ほか



小島弥寧子

8月23日(水)

スティールパン・アンサンブル： PAN NOTE MAGIC



ランチタイム 爽やかな音色 “スティールパン”で世界旅行
ディズニー映画「リトルマーメイド」よりアンダー・ザ・シー
J.S.バッハ：フーガ短調 ほか

ナイト60 爽やかな“スティールパン”で楽しむ熱帯夜
ビゼー：歌劇「カルメン」より抜粋曲
パノラマチューン ほか

9月27日(水)

響き合う4本のギター

出演：タレガ・ギターカルテット
朴 葵姫 松田 弦 徳永真一郎 岡本拓也

ランチタイム

ドビュッシー/J.スパークス：
「ベルガマスク組曲」より「月の光」
アルベニス：「スペイン組曲第1集」
Op.47-3より セビーリャ ほか



MUZAワインバー あり! 19:00開演(100席限定)

「MUZAランチタイムコンサート&ナイトコンサート60」チケット情報

毎月1回のシリーズで、ランチタイムコンサートは40分間で500円、ナイトコンサート60は1時間で1,000円と、短めの演奏時間・お手頃価格で楽しめます(ナイトコンサート60には限定100席の《SS指定席2,000円》もあります)。自由席はSuicaやPASMOで入場できるのでとても便利です。
(注)ナイトコンサートにはトップアーティストたちの音楽を堪能する「MUZAスペシャル・ナイトコンサート90」と、グラス片手に音楽を味わうことができる「MUZAワインBAR」もあります。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

ミューザ 検索

10月25日(水)

能楽とオルガン、 伝統の交わる瞬間

出演：徳岡めぐみ(オルガン)
梅若紀彰(観世流シテ方)
竹市 学(能管)

ランチタイム ナイト60

ジャン＝ピエール・ドゥルーズ：
4つの俳句によるエヴォカシオン
J.S.バッハ/アンリ・メッスラー：シャコンヌ ニ短調



徳岡めぐみ 梅若紀彰 竹市 学

11月15日(水)

東京交響楽団 金管アンサンブル

出演：澤田真人(トランペット)
川田修一(トランペット)
上間善之(ホルン)
大馬直人(トロンボーン)
田村優弥(チューバ)

ランチタイム ナイト60

プログラム調整中



澤田真人 川田修一



上間善之 大馬直人 田村優弥

12月12日(火)

聖なる響きとともに、 声の可能性を探る

出演：ヴォクスマーナ(声楽アンサンブル)

ランチタイム ナイト60

メシアン：おお 聖なる饗宴
デュリュフレ：グレゴリオ聖歌の主題による
4つのモテット 作品10
松平頼暁：昇天日の為の聖餐式曲



2018年
1月24日(水)

宗教改革500年！ オルガンの響きで聴く歴史が動いた瞬間

出演：長田真実(パイプオルガン)
大平健介(パイプオルガン)

ランチタイム

メンデルスゾーン：オルガンソナタ 第6番
メンデルスゾーン：交響曲第5番「宗教改革」より



ほか 長田真実 大平健介

2018年
2月21日(水)

和と洋の琴による癒しの世界

出演：中井智弥(二十五絃箏)
堀米 綾(ハープ)

ランチタイム

モンティ：チャルダッシュ
岡野貞一：おぼろ月夜
R.ロジャース：私のお気に入り
～サウンド・オブ・ミュージックより～
ほか



中井智弥 堀米 綾

MUZAワインバー あり! 19:00開演(100席限定)

2018年
3月26日(月)

春休み特別企画！ こんなに楽しい！ 音楽室の楽器が奏でる名曲

出演：おながくしつトリオ

ランチタイム

『マイ・フェア・レディ』より
踊り明かそう
ハナミズキ
グラナダ ほか



※この3/26公演のみ4歳のお子様から入場できます。



ミューザに行ってみたい人、
オーケストラを聴いてみたい人には
こちらもお薦め!!

ミューザの日2017

ウェルカム・コンサート ～オーケストラ入門！～



7月1日(土) 14:00開演(13:00開場)

全席指定 大人2,000円 シニア(65歳以上)1,500円
こども(4歳～中学3年生)500円

出 演

指揮：秋山和慶 パイプオルガン：近藤 岳
お話：朝岡 聡 管弦楽：東京交響楽団

プログラム

♪ロシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲
♪アンダーソンの名曲で楽器が大活躍！
「フィドル・ファドル」「クラリネット・キャンディ」
「トランペット吹きの日」
♪チャイコフスキー：スラブ行進曲 ほか

「オーケストラ入門」



「オーケストラの世界へようこそ」

はじめてコンサートに来ていただくからこそ、オーケストラとホールが本気で考えたプログラムで皆さまをお迎えます！大迫力のオーケストラ、楽器の紹介やパイプオルガン演奏、指揮者体験コーナーまで盛り込んだ特別版です。「はじめてオーケストラを聴くワクワク感」をあなたへ！お子様(4歳以上)からご家族、おじいちゃん、おばあちゃんまで3世代にわたって楽しんでいただけます。

「楽しいイベントが ほかにも盛りだくさん！」

7月1日は川崎市の市制記念日であり、ミューザの開館記念日でもあります。今年で5年目になる「ミューザの日」では、ホールはもちろん、ビル全体……そして街へも飛び出します。「音楽のまち・かわさき」を一日中楽しめるさまざまなイベントに、どうぞご期待ください。

主なイベント ★ものづくり体験コーナー ★スタンプラリー(ホール周辺)
★トレインフェスタ ほか

詳細はホームページ等で随時ご案内します。

わくわくミューザ 検索

3 水・祝
18:00

～PlayStation®を彩るJAPAN Studio音楽祭 2017～

GAME SYMPHONY JAPAN 23rd CONCERT

指揮:志村健一 管弦楽:東京室内管弦楽団 合唱:東京混声合唱団

第1部「アークザラッド」「ワイルドアームズ」「ポポロクロイス物語」他 / 第2部「どこでもいっしょ」「サルゲッチュ」他 / 第3部「ワンダと巨像」「人喰いの大鷲トリコ」他

お問合せ:株式会社アイムビレッジ
044-567-4869

5 金・祝
11:00～

こどもの日オープンハウス

【ミニコンサート】パーカッションアンサンブル Tuk-Pak(ツクパク) / 【パイプオルガン&照明ショー】パイプオルガン:近藤 岳(ホールオルガニスト)
「オープンハウス」はミュージア川崎シンフォニーホールの無料開放デー。ミニコンサートを楽しんだり、フリータイムにはバックステージの見学もできます。ほかにも指揮者コーナーやストリートオルガン体験など、様々なイベントを開催予定! 詳しくはウェブページ「わくわくミュージア」をご覧ください。

6 土
13:30

第21回 A.リード 音の輪コンサート ～ジェイムズ・バーンズを迎えて～

指揮:ジェイムズ・バーンズ、伊藤透、小林恵子 吹奏楽:A.リードメモリアルバンド2017、音の輪ウインドシンフォニカ2017 マリンバ:高田亮
J.バーンズ:ミュージック・メーカーズ / J.バーンズ:アルヴァマー序曲 / J.バーンズ:シンフォニック・オーバーチュア / A.リード:エル・カミーノ・レアル / J.バーンズ:交響曲第3番 他

お問合せ:事務局(株式会社エービーアイ)
044-789-9146

7 日
13:30

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017前期

「輝けるテノール」錦織健 テノール・リサイタル

テノール:錦織健 ピアノ:金井信

服部良一:蘇州夜曲 / 瀧廉太郎:荒城の月 / 菅野よう子:花は咲く / 山田耕筈:この道 / プッチーニ:"誰も寝てはならぬ"「トゥーランドット」より / ラカジェ:アマポーラ ほか

お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080

9 火
18:30

第一生命グループPresents

「The Mozarts」川崎市・ザルツブルグ市友好記念コンサート

ヴァイオリン:フランク・シュタートラー ピアノ:菅野潤 チャイルドヴァイオリン:江崎友紀
ザルツブルグ市と友好関係都市にある川崎市と第一生命が協力しコンサートを開催します。

お問合せ:川崎市 市民文化振興室
音楽のまち推進担当 044-200-2030

13 土
14:00

NOVA VOCE 第7回 演奏会

指揮:青木洋也 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 ソプラノ:藤崎美苗 パス:藤井大輔
メンデルスゾーン:オラトリオ「クリストゥス」Op.97 / メンデルスゾーン:交響曲第2番「讃歌」Op.52

お問合せ:NOVA VOCE事務局(加藤) 090-3040-0339

14 日
13:30

水星交響楽団 第55回 定期演奏会

指揮:森口真司

サティ:バレエ音楽「バラード」 / ルーセル:バレエ音楽「パッカスとアリアーヌ」第2組曲 / ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(全曲)

お問合せ:090-1608-5749(植松)

20 土
18:00

東京交響楽団 第650回 定期演奏会

指揮:ジョナサン・ノット ピアノ:小曽根 真

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第6番 変ロ長調 K.238 / ブルックナー:交響曲 第5番 変ロ長調 WAB 105

お問合せ:TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

21 日
14:00

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第60回

指揮:ジョナサン・ノット ピアノ:小曽根 真

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第6番 変ロ長調 K.238 / ブルックナー:交響曲 第5番 変ロ長調 WAB 105

お問合せ:TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

24 水
12:10
19:00

JFE Presents MUZAランチタイムコンサート5月 / MUZAナイトコンサート60

初夏に想う オルガンとソプラノの美しき調べ

パイプオルガン:近藤 岳 ソプラノ:松井亜希

J.S.バッハ:ピエス・ドルグ(幻想曲)ト長調 BWV572 /

J.S.バッハ:カンタータ第82番『われは満ちたれり』BWV82 より 第2曲レタティエヴォ「われは満ちたれり」、第3曲アリア「眠れ、疲れた眼(まなこ)よ」 他

25 木
15:00

明電舎創業120周年記念 N響 午後のクラシック

指揮:ウラディーミル・フェドセーエフ ピアノ:ボリス・ベレゾフスキー

ショスタコーヴィチ:祝典序曲 / チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 / リムスキー・コルサコフ:スペイン奇想曲 / チャイコフスキー:幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」

お問合せ:N響ガイド 03-5793-8161

28 日
14:00

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第127回

指揮:ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ ピアノ:岡田 奏 管弦楽:東京交響楽団

ムソルグスキー:歌劇「ホヴァンシチナ」から ペルシヤの奴隷たちの踊り / サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第5番 へ長調「エジプト風」 / リムスキー＝コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



第5回 前座・二ツ目激励

「お昼の落語」

今回は特別に真打の初音家左橋さんにお越し頂きます。

日時:5月17日(水)14時～15時半(13時半開場)

料金:無料 定員:先着80名(自由席)

会場:東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演:真打 初音家左橋

前座 柳家小多け



初音家左橋



柳家小多け

街道シリーズ第13回

街道歩きをもっと楽しくするために 講演会

「道の理由・道の気持ち」

～旧東海道の地形を歩く～

日時:5月20日(土)14時～(13時半開場)

料金:無料 定員:先着80名(自由席)

会場:東海道かわさき宿交流館4階 集会室

講師:大森 誠(風人社代表)



企画展

大型立体模型「今やなつかしき川崎駅前」展

昭和40年代頃の川崎駅周辺の様子を模型で紹介します。

日時:5月5日(金・祝)～7月30日(日)9時～17時

料金:無料

会場:東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室

協力:川崎市市民ミュージアム



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



アルテリッカ新ゆり美術展2017



ゴールデンウィークに開催される芸術祭、「アルテリッカしんゆり2017」のプレイベントとして、美術展が開催されました。

麻生区美術家協会と麻生区文化協会美術工芸部会による展示が並行して行われ、3メートルを超える書の大作や、100～200号クラスの大きな洋画や日本画などの絵画、美しい陶芸や彫刻、写真が来場者の目を楽しませていました。

また、麻生いけばな協会所属の18名による流派を超えた生け花の合作「春詩画人」で会場が一層華やき、一足早い春の訪れを感じさせてくれました。

地元の劇団「民藝」に所属する女優さんを描くデッサン会の参加者による作品も展示され、地域の幅広いジャンルの美術作品を堪能できる機会となりました。

(3月6日～12日 新百合トウェンティワンホール)

劇団わが町 「恐れを知らぬ27人の劇作家？ と49人の俳優たち」



撮影 関口淳吉

ドイツの劇作家ブレヒトにならい、劇団員が私たちの今を描く短編を書いた。

下は9歳から上は79歳という幅広い年齢の作家が27人も誕生した。

集まった短編を、一本につなぎ合わせ上演。教育や離婚問題、いじめや平和への想い、携帯依存症等、現代のリアルを写しだした作品ばかり。身近なテーマでテンポ良く展開される舞台は、共感を得ながらも『忘れてはならないこと』を伝えられたようだ。

戦後70年、福島原発事故から5年の、2016年の現実をみつめた唯一無二の作品となった。

(3月10日～12日 アルテリオ小劇場)

第110回 川崎市定期能



能「西行桜」 シテ 観世恭秀(撮影 前島吉裕)

観世流と大蔵流狂言の能楽師をお迎えし、第110回川崎市定期能を開催しました。

第一部は、足のしびれを理由にお使いを断ろうとする家来と主人のやりとりがおかしい狂言「痿痺(しびり)」と、歌人としても武人としても優れていた平忠度が、桜について詠んだ和歌への執心を描いた能「忠度」を、山階彌右衛門師が東日本大震災で被災された方々への手向けとして演じました。

第二部は、「舟」の呼び方で言い争う主人と家来のやりとりがおかしい狂言「舟ふな」と、京都西山の庵で桜を愛でる西行上人の夢に現れた老桜の精を描いた能「西行桜」を観世恭秀師が幻想的に美しく演じ、観客を魅了しました。

川崎市定期能は、3・9・12月の年3回、開催しています。能を初めてご覧になる方も多く訪れるこの公演。ぜひ、川崎能楽堂で能の世界をお楽しみください。

(3月11日 川崎能楽堂)

街道シリーズ 第12回 「サハリンの古街道と 北方アイヌ部族」



街道シリーズ講演会(無料)を開催しました。講師は、歴史古街道研究家の宮田 太郎さん。

今回のテーマは「サハリン古街道と北方アイヌ部族」。昔から日本と関わりがあったサハリン島のことを題材に、アイヌや先住民族の風俗、またそこへ訪れた間宮林蔵や宮沢賢治などのお話をしてくださいました。実は宮田さんは月に1回、NHKラジオ番組「ラジオ深夜便」に出演しているのもあり、わかりやすい話し方で聞きやすかったです。

次回は、5月20日(土)午後2時より交流館の4階集客室で行います。予約なし、

入場無料です。講師は、大森誠さんです。大森さんは風人社という出版会社の社長さんで、『ホントに歩く東海道』を出しています。当館1階の売店でも販売しています。どうぞお楽しみに。

(3月18日 東海道かわさき宿交流館)

被災地復興支援 チャリティコンサート



ミュージザ川崎シンフォニーホールは、東日本大震災で被災したホールとして、2013年より毎年3月11日にチャリティコンサートを行っています。

今年ははじめて東京交響楽団が出演し、「新世界より」などを演奏しました。

この日集まった募金は川崎市を通じて、東日本大震災と熊本地震の復興支援のために寄付されます。アンコールでは会場全員で「ふるさと」を合唱し、故郷に想いを馳せました。

(3月11日 ミュージザ川崎シンフォニーホール)

川崎郷土・市民劇 シンポジウム 「90周年を迎えた南部線の今昔」



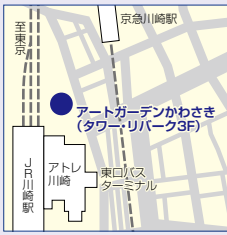
第6回 川崎郷土・市民劇のシンポジウム、3回目となる今回は「90周年を迎えた南武線の今昔」をテーマとし、3人の講師をお迎えしました。

川崎市観光協会会長の斎藤文夫氏は、砂利を運ぶために作られた南武鉄道に浅野総一郎氏が目をつけたことや、南武線に乗ったときに想いを馳せたお話をして下さいました。

JR川崎駅駅長の小川久光氏は、今年開業145周年を迎えた川崎駅の知られざる歴史や、今後の南武線の構想についてお話し下さり、川崎市文化協会理事の三武孝氏は、南部鉄道が誕生してから国有化されるまで、そして現在までの歴史を多摩川と関連付けてお話し下さいました。

「南武線誕生物語」は5月13日に多摩市民館で上演初日を迎えます。ぜひ、会場へお越しください。(3月26日 中原区役所)

アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817

<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>

【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分、
京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール



貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

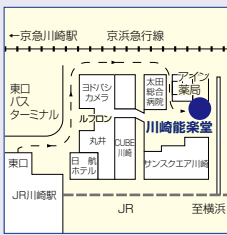
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103

<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、
京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂



貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>

【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、
JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

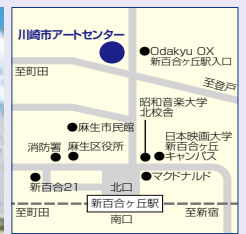
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151

<http://www.plazasol.jp/>

【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200

<http://kawasaki-ac.jp/>

【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350

<http://shinyuri21hall.jp/>

【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

2017.5

2017.5		1 Mon	2 Tue	3 Wed	4 Thu	5 Fri	6 Sat	7 Sun	8 Mon	9 Tue	10 Wed	11 Thu	12 Fri	13 Sat	14 Sun	15 Mon	16 Tue	17 Wed	18 Thu	19 Fri	20 Sat	21 Sun	22 Mon	23 Tue	24 Wed	25 Thu	26 Fri	27 Sat	28 Sun	29 Mon	30 Tue	31 Wed
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室								静雅書道会 第28回 硬筆展 5月9日(火)～14日(日)										第19回 真美展 5月23日(火)～28日(日)					啓明書道展 5月30日(火)～ 6月4日(日)								
	第2展示室	國藝書道院展 5月2日(火)～7日(日)												大同会東京アート展 5月16日(火)～21日(日)					第22回「フォトサークル 写撮」写真展 5月23日(火)～28日(日)					川研写真展 5月30日(火)～ 6月4日(日)								
	第3展示室								第43回 秀華 書展 5月10日(水)～14日(日)					フォトクラブ川崎写真展 5月16日(火)～21日(日)					第14回 ヨシダ絵画／ 造形展示会 5月23日(火)～28日(日)					緒方真太郎回顧展 5月30日(火)～ 6月4日(日)								
ミューザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】5/15(月)																									秋水・道汀記念展 ことばが奏でる書 5月31日(水)～6月5日(月)							
アートスクエア木月(中原区) 中原区木月1-8-4 TEL.044-433-4010		郭鐘洙 個展 5月3日(水・祝)～5月7日(日)																														
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1・2階 TEL.433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		マクラメ手芸作品展 ～5月2日(火)				陶芸三人会 作品展 5月5日(金・祝)～10日(水)				第39回 中原市民館 サークル祭 5月12日(金)～14日(日)								旺油会 絵画展 5月19日(金)～24日(水)				陶芸 アトリエ彩 5月26日(金)～31日(水)										
川崎市民民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)	企画展	有料 日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展 あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた ～6月25日(日) 観覧料:一般600円・65歳以上・高校生・大学生500円、中学生以下無料																														
	アート ギャラリー	デンマーク展 ～最新と古き良きものの融合～ ～6月25日(日)																														
		アンデルセン童話の若手作家展 ～6月25日(日)																														
 アンデルセン展 アンデルセン制作の切り絵 1850年代 ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館蔵																																
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL.814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		久末フォーククラブ 写真展 ～5月3日(水・祝)				広彩会展 5月5日(金・祝)～10日(水)				ぼけぴんクラブ写真展 5月12日(金)～17日(水)※15日休館								幸陽会展 5月19日(金)～24日(水)				年金者組合高津支部作品展 5月26日(金)～31日(水)										
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL.888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		多摩区宮前区 小規模多機能事業者連絡会 作品展 ～5月3日(水・祝)				押し花と山の幸染めを楽しむ会展 5月5日(金・祝)～10日(水)				アートスタジオみやまえ作品展 5月12日(金)～17日(水)※15日休館								遊墨会 第9回作品展 5月19日(金)～24日(水)				第6回宮前区 平和のための原爆展 5月26日(金)～31日(水)										
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL.935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		暮らしの中の織りを求めて 民具製作技術保存会 はた織りグループ ～5月3日(水・祝)				墨友会展 5月5日(金・祝)～10日(水)												第3回アトリエ多摩作品展 5月19日(金)～24日(水)				多摩絵画会展 5月26日(金)～31日(水)										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区桁形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)	企画展	有料 企画展「岡本太郎×建築 –衝突と協同のダイナミズム」展 ～7月2日(日) 観覧料:一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料																														
	常設展	有料 常設展「岡本太郎 –赤の衝動–」展 ～7月2日(日) 企画展観覧料でご覧いただけます																														
 岡本太郎《日の壁》 原画 1956年																																
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL.951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		友墨会 水墨画作品展 ～5月3日(水・祝)				彩(いろどり)絵画展 5月5日(金・祝)～10日(水)				青泉会書展 5月12日(金)～17日(水)※15日休館				キリム手織りの会作品展 5月19日(金)～24日(水)				王禅寺パステル画会作品展 5月26日(金)～6月7日(水)														

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～6月25日(日)

日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展

あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた

- 観覧料：一般600円、
65歳以上・高校生・
大学生500円、
中学生以下無料

2017年は、デンマークとの国交樹立150周年という記念すべき年です。デンマークの国民的作家と言えばハンス・クリスチャン・アンデルセンです。世界中で愛読されている童話作家であり、日本でも多くの人が幼い頃よりアンデルセンのロマンと暖かみ溢れる童話に親しんできました。本展では、ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館(デンマーク・オーデンセ市)所蔵の貴重な資料約30点を展示し、アンデルセンの生涯と芸術の世界をご覧ください。



クリスマスツリーの装飾 1850年代
ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館 所蔵

アートギャラリー／開催中～6月25日(日) 観覧料：無料

◆デンマーク展 ～最新と古き良きものの融合～

アートギャラリー1

アンデルセンの生まれた街・オーデンセ市やデンマークの首都コペンハーゲンの都市の様子、人々の暮らしを紹介します。

◆アンデルセン童話 の若手作家展

アートギャラリー3

川崎市在住のイラストレーターNaffy(なふい)さんのアンデルセン童話をイメージしたイラストを展示します。



中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、清の口駅ノキティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】毎週月曜日
http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～7月2日(日)

「岡本太郎 ー赤の衝動ー」展

岡本太郎は「あなたの好きな色は何ですか?」と尋ねられると必ず「赤」と答えていました。

絵画作品でも象徴的に使われている「赤」は岡本太郎にとって炎や太陽、血、そして命の色でした。抽象絵画をこころざしたパリ留学中から1980年代にいたるまで、岡本は赤の色彩をもちいた作品を数多く描いています。

本展では、そんな岡本が生涯描き続けた「赤」の作品をご紹介します。



岡本太郎《赤のイコン》 1961年

企画展／開催中～7月2日(日)

「岡本太郎×建築 ー衝突と協同のダイナミズム」展

建築家たちとの協同のなかで、岡本太郎の仕事は「美術」の枠を大きく超えて、豊かな広がりを獲得しました。本展は、日本が大きく飛躍をした時代、共に都市と時代を見つめた岡本太郎と建築家たちの交流に焦点をあて、建築と美術の協同のかたちについてご紹介します。



旧東京都庁「日の壁」 1957年



岡本太郎《日の壁》原画 1956年 岡本太郎記念館蔵

一般1,000(800)円、高校・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

【関連イベント】

◆レクチャーシリーズ「建築とアート」

企画・司会：藤原徹平(建築家)

- 第1回 鈴木周二(建築家) ●日時：5月13日(土) 14:00～
- 第2回 青木 淳(建築家) ●日時：5月20日(土) 14:00～
- 第3回 中山英之(建築家) ●日時：5月27日(土) 14:00～
- 第4回 名和晃平(彫刻家) ●日時：6月 3日(土) 14:00～

- 場 所：美術館ガイダンスホール、企画展示室
- 定 員：各回70名程度(要予約・要観覧券)
- 申し込み：電話のみ(044-900-9898)先着順 4月22日(土)10:00から受付開始

◆「まちをつくろうーぼくらのいこい島ー」

岡本太郎はある雑誌の「ぼくらの都市計画」という特集のなかで、「いこい島」というドリームプランについて語っています。企画展の開催に合わせて、身近な材料を使って、自由にみんなでまちをつくれるスペースを開きます。わたしたちにとっての夢の「いこい島」を作ってみませんか?

- 日 時：2017年5月5日(金・祝)、6日(土) 13:00～16:00(自由に入場、退場できます)
- 場 所：美術館ギャラリースペース ●対 象：どなたでも
- 料金等：申込不要・参加費無料

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】毎週月曜日
http://www.taromuseum.jp

●ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



ホームページ



Facebook



アルテリオ小劇場

ボカラの会

無伴奏デクノボー奏鳴曲2016

宮沢賢治の夢のかげら

作・演出 ふじたあさや／音楽 林 光

賢治とゴーシュ、二人のデクノボーの物語。

賢治の8年間とゴーシュの7日間を描く異色の舞台。

「セロ弾きのゴーシュ」を手がかりに賢治の生涯を劇化しようとする役者と稽古場にやって来た見知らぬ女が、賢治と妹・トシ子の思いにせまる。チェロの生演奏と人形劇も楽しめるふたり芝居。

2017年5月4日(木・祝) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演】松本英司、まつもとごんこ 【チケット】一般 2,500円／学生 1,500円(全席指定・税込)



舞台写真

人形劇団クラルテ

おーいペンギンさん

原作 岡田よしとか／脚色 松本則子／演出 西村和子

大阪弁のナンセンスな人形劇!!

初めて1人で銭湯に行った太郎の長〜い冒険? お風呂やさん→大海原→動物の島々→南極→太郎の家。と、テンポのいい舞台転換。テンポのいい大阪弁。嫌がるワニを南極での相棒にしよう太郎の話術とワニのキャラクターの魅力は子どもたちを魅きつけます。笑い笑いの50分。大阪を拠点に60年余りの歴史を持つ人気の人形劇団クラルテ。本場関西のナンセンスな笑いをお楽しみください。

2017年5月6日(土) ①11:00 ②14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】奥洞 昇、齋藤裕子、竹内佑子

【チケット】大人 2,000円／子ども 1,000円(全席自由・税込) ※3歳以下は大人1名につきひざ上1名無料



舞台写真

『無伴奏デクノボー奏鳴曲』『おーいペンギンさん』チケット取扱い

- 川崎市アートセンター：窓口(9:00~19:30、原則毎月第二月曜除く)
 - アルテリッカしんゆりチケットセンター：電話 044-955-3100(9:30~17:00)
- WEB <http://www.artericca-shinyuri.com/>

しんゆりジャズスクエアvol.29

野口久和ザ・ビッグバンド

野口久和ザ・ビッグバンドが川崎市アートセンターオープン10周年を彩ります。スイングや映画音楽の名曲をビッグバンドでゴージャスに!

〈予定曲〉Take the 'A' Train、Memories of you ほか

2017年6月23日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】野口久和ザ・ビッグバンド

【チケット】4,000円(全席自由・税込)



★サポーターズチケット★

年5回を予定している「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、3種類のお得なチケットをご用意しました!ご家族や、ご友人とご一緒にぜひお越しください!

〈年間パスポート:13,000円〉開始10分前までにお越し頂ければ、優先入場。前売完売でもご入場頂けます。

(ご本人のみご利用可能。公演当日、会場にて当日券とお引き換え下さい。)

〈2枚セット券:7,000円〉公演ごとにご使用頂けます。 〈4枚セット券:12,000円〉公演ごとにご使用頂けます。

- 【今後のラインナップ】 ● 2017年 9月29日(金) 昭和音大講師・守屋純子を中心に、講師陣・卒業生・学生のコラボレーション
- 2017年11月24日(金) ジャズメッセンジャーズの名曲を女性ミュージシャンを中心に
- 2018年 1月26日(金) アントニオ・カルロスジョビンのボサノバ名曲特集
- 2018年 3月23日(金) 春休み!親子で楽しむジャズ!

【チケット取扱い】 ● 川崎市アートセンター：窓口(9:00~19:30、原則毎月第二月曜除く)

WEB <http://kawasaki-ac.jp/th/>(サポーターズチケットのWEBでの取扱いはございません)

● マイタウンチケットセンター：電話 044-954-9990(月~金、10:00~18:00)



©Salem Time Limited, Why Not Productions, Wild Bunch, Les Films du Fleuve, British Broadcasting Corporation, France 2 Cinema and The British Film Institute 2016

わたしは、 ダニエル・ブレイク

About the film

作品について

2016年/イギリス、フランス、ベルギー/カラー/1h40
監督：ケン・ローチ
出演：デブ・ジョーンズ、ヘイリー・スクワイアーズ、ディラン・フィリップ・マキアナン
◆第69回カンヌ国際映画祭パルムドール（最高賞）

イギリス北東部ニューカッスルを舞台に複雑な制度に翻弄され、人としての尊厳を踏みにじられ貧困に苦しみながらも、助け合い生きていこうとする大工のダニエルとシングルマザーのケティ親子との心の交流を描く。イギリスを代表する巨匠ケン・ローチ監督が2016年の第69回カンヌ国際映画祭で2度目の最高賞パルムドールを獲得した最新作。

4.29-5.12

Ken Loach interview

ケン・ローチ監督インタビュー

本作はどのようにして生まれましたか？

生きるためにもがき苦しむ人々の普遍的な話を作りたいと思いました。しかし、登場人物やシチュエーションは、生きた経験に根差したものでないといけません。死に物狂いで助けを求めている人々に国家がどれほどの関心を持って援助をしているか、いかに官僚的な手続きを利用しているか。そこには、明らかな残忍性が見て取れます。政治的な武器として複雑な手続きを用意して、故意に非能率的にしているのです。「働かないとこうなる。仕事を見つけないなら苦しむしかない」と言っているようなものです。これに対する怒りが、本作を作るモチベーションとなりました。

50年前のTVシリーズ「キャシー・カム・ホーム」と共通点はありますか？

両作品とも、社会経済の影響によって、生活が深刻に壊されていく人間を描いています。このことは、私たちが繰り返し考えなければならないことですが、特に本作の中ではっきりと描いています。(…)市場経済が、容赦なく私たちをこの惨劇へと導いたのです。簡単に搾取されてしまう、か弱い労働者階級を生み出しました。(…)制度の過ちでしょうか、人間の過ちでしょうか。制度を変えようとしていない以上、これは人間の過ちと言わざるを得ません。振り返ってみると、今起きていることに驚くこともないでしょう。ただ一つ問うべきなのは、「では私たちはどう行動するのか？」ということです。(宣伝用プレスシートより抜粋、校正・文責＝) 川崎アートセンター 協力＝ロングライド)



©Bon Ishikawa

世界でいちばん美しい村

2016年/日本/カラー/1h48
監督・撮影：石川梵
ナレーション：倍賞千恵子

4.29-5.5

2015年に起きたネパール大地震で壊滅した震源地に近い村に1年間密着し、ヒマラヤ山岳の壮大な大自然の中、困難に直面しながらも復興を果たそうとする人々を記録したドキュメンタリー。ナレーションを女優の倍賞千恵子が担当。



©1991 Kallidoscope

牯嶺街（クーリンチェ）少年殺人事件

1991年/台湾/カラー/3h56/PG12
監督：エドワード・ヤン
出演：チャン・チェン、リサ・ヤン

4.29-5.12

台湾の名匠エドワード・ヤンが1961年に台北で起きた14歳の少年によるガールフレンド殺人事件に想を得て、青春期特有のきらめき、残酷さを描いた青春群像劇。世界中のアーティストに影響を与え、熱狂的な信奉者を生み出した伝説の傑作が25年ぶりにデジタルリマスター版で蘇る。



2015, Silk Road Project Inc. All Rights Reserved

ヨーヨー・マと旅するシルクロード

2015年/アメリカ/カラー/1h35
監督：モーガン・ネヴィル
出演：ヨーヨー・マ、ジョン・ウィリアムズ

5.6-5.12

世界的チェロ奏者であるヨーヨー・マが、【音の文化遺産】を世界に発信するために立ち上げた“シルクロード・アンサンブル”に密着したドキュメンタリー。ケマンチェ、中国琵琶（ピバ）、尺八、バグパイプなど伝統的な東西の音楽と現代音楽とが融合し、国境を超えた究極の音楽が奏でられる。



© 2015 / LES PRODUCTIONS DU TRESOR - STUDIOCANAL

モン・ロワ 愛を巡るそれぞれの理由

2015年/フランス/カラー/2h06/R15+
監督：マイウェン 出演：エマニュエル・ベルコ、ヴァンサン・カッセル、ルイ・ガレル

5.13-5.26

弁護士のトニーは、スキー事故で大けがを負い入院する中、元夫ジョルジオとの波乱に満ちた関係を思い出す。秘かに懂れていた彼に偶然再会し、電撃的に恋に落ちた男と女の10年の愛の軌跡を描く。主人公のトニーを監督としても高く評価されているエマニュエル・ベルコが演じる。



©2016 CG Cinema - Arc France Cinema - Detail Film - Rhone-Alpes Cinema

未来よ こんにちは

2016年/フランス、ドイツ/カラー/1h42/PG12
監督：ミア・ハンセン＝ラブ
出演：イザベル・ユベール、アンドレ・マルコン

5.13-5.26

パリの高校で哲学を教えるナタリーは、突然の夫からの離婚の申し出、母の他界、など次々と起こる想定外の出来事から、気がつけばひとりになっていた。孤独や時の流れをしなやかに受け入れながらも進みつづける主人公をフランスの女優イザベル・ユベールが演じる、愛に満ちた珠玉の人間ドラマ。



©Trenco Pictures

家族の肖像

1974年/イタリア、フランス/カラー/2h01
監督：ルキノ・ヴィスコンティ 出演：バート・ランカスター、シルヴァーナ・マンガノ、ヘルムート・バーガー

5.13-5.26

ローマの高級住宅街に佇む豪邸に一人静かに暮らしていた老教授の生活は、ある日突然闖入してきた家族によって掻き乱される。長年に渡り協力関係にあった名優たちが奏でる、巨匠ルキノ・ヴィスコンティの後期最高傑作と謳われる不朽の名作のデジタルリマスター版。

ダニス・タノヴィッチ監督作品連続上映



©Cinemaphilic Service Entreprises & SVP Film 2014

汚れたミルク／あるセールスマンの告発

2014年/インド、フランス、イギリス/カラー/1h30
監督：ダニス・タノヴィッチ
出演：イムラン・ハジミ、ギータンジャリ

5.6-5.12

パキスタンで、巨大グローバル企業が強引に販売した粉ミルクによって乳幼児が死亡する事件が発生する。自らが販売した商品が子どもたちの命を奪っている事に気づいた主人公は企業を訴えるため人生の全てを投げうって立ち向かう。実際の事件に基づく、幻の問題作が世界初公開。



©Thalys Cinema, Cinéma de la Ville de Paris 2016

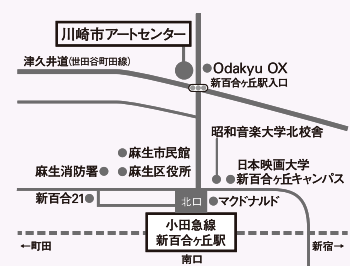
サラエヴォの銃声

2016年/フランス、ボスニア・ヘルツェゴビナ/カラー/1h25
監督・脚本：ダニス・タノヴィッチ
出演：ジャック・ウェバー、スネジャナ・ヴィドヴィッチ

5.13-5.19

第一次世界大戦のきっかけとなったサラエヴォ事件から100年の記念式典を行う“ホテル・ヨーロッパ”を舞台に100年前と現代を交錯させ、いまだ複雑化しているサラエヴォの悲劇の歴史、混沌としていく人びとの感情を描いた社会派ドラマ。

ボスニア・ヘルツェゴビナの気鋭、ダニス・タノヴィッチ監督による日本での公開が世界初公開となる『汚れたミルク／あるセールスマンの告発』とベルリン国際映画祭審査員グランプリ（銀熊賞）と国際批評家連盟賞をW受賞した『サラエヴォの銃声』の2作品を連続上映します。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp
http://kawasaki-ac.jp/
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日
のお楽しみ

2017

ラゾーナ寄席

第59回

5月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…桂 幸丸・桂米多朗・春風亭昇也・柳亭楽ちん

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp <http://www.plazasol.jp>



桂 幸丸

25回◇◇◇かわさき市民アンデパンダン展◇◇◇

市内在住・在勤・在学者のアンデパンダン公募展
(絵画・書道・写真)

～ 作品募集のお知らせ～

〔募集期間〕

4月25日(火)～5月31日(水)

◎詳しくは募集要項をご覧ください。

(区役所・市民館・図書館で4月下旬配布予定)

〔申し込み先〕

(公財)川崎市文化財団(アートガーデンかわさき)

TEL. 044-222-8821

※川崎市文化財団HPからも申し込めます。



〔開催期間〕

6月27日(火)～7月9日(日)

(7月3日(月)は休館日)

10時～18時(入場終了 17時30分)

※最終日は15時まで

〔会 場〕

アートガーデンかわさき

主催／川崎市民美術協議会・公益財団法人川崎市文化財団

共催／川崎市教育委員会 後援／川崎市

かわさき市民アンデパンダン展とは…

川崎市で40年以上にわたって開催されている公募制の総合美術展で、出品作品に入選・入賞などの優劣をつけない無審査方式で行われています。最終日の講評会では出品者一人一人がプロの講師による講評やアドバイスを受けられるなど、出品者や美術愛好家の交流の場となっています。

※講評／7月9日(日)13:00～15:00

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
<http://www.kbz.or.jp>
平成29年5月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷㈱ TEL.044-542-2311